

アクリコ[®]NB

ACE1-11

商品名

アクリコ NB は、1 成分形乾燥硬化型水性アクリルエマルジョン系下地処理材です。

壁面と天井の取り合いなどに塗装下地処理として使用することで綺麗なラインを出すことができます。

作業性に優れた低粘度タイプなので刷毛塗りが可能で、乾燥硬化後はクリアになり美観を保ちます。

■特長

- ◇水性で安全
シンナーを含まないため中毒や引火の危険がありません
- ◇低粘度
作業性に優れた低粘度タイプで刷毛塗りができます
- ◇被塗装性良好 ノンブリードタイプ
上塗り塗料へのにじみ出し(ブリード)がほとんどありません

■用途

- ・壁面と天井の取り合いなどの塗装下地処理
- ・各種塗装下地処理
- ・巾木や内装下地の隙間に

■性状・性能

・一般性状

商品名	アクリコ [®] NB
製品コード	ACE1-11
クラス	—
外観	ペースト状
混合比	—
色	乳白色(硬化後:透明)
有効期限	12ヶ月
粘度(Pa・s)	90/23°C
施工温度範囲	5°C~40°C
適応温度範囲	-20°C~50°C
塗装性	良好

・乾燥時間(目安)

硬化条件		硬化皮膜の厚み		
		0.5mm	1.0mm	3.0mm
多孔質面	5°C*60%RH	6	24	48~72
	23°C*50%RH	1.5	3	24~48
	30°C*40%RH	0.5	1.5	24
非多孔質面	5°C*60%RH	8	24	48~72
	23°C*50%RH	1.5	4.5	24~48
	30°C*40%RH	0.5	4.5	24

単位: 時間

・JIS A 5758 又は JIS A 1439 に基づく性能

密度(g/ml)	1.07	
タックフリー(時間)	23°C	1.5
押し出し性(秒)	23°C	-
体積損失(%)	40	





・仕上げ塗材との付着性と汚染性

下表は一応の目安であり、仕上げ塗材の成分・メーカーによりバラツキが生じることがあるので、必要に応じてご確認下さい。

分類	通称例	付着性	汚染性
薄付け仕上げ材	アクリル(樹脂)リシン	○	◎
	弾性リシン	○	◎
複層仕上げ材	シリカタイル	○	◎
	弾性吹付タイル(防水形)	○	◎
厚付け仕上げ材	樹脂スタッコ	○	◎
水系塗料		○	◎
溶剤系塗料		○	◎
油性塗料*		○	△

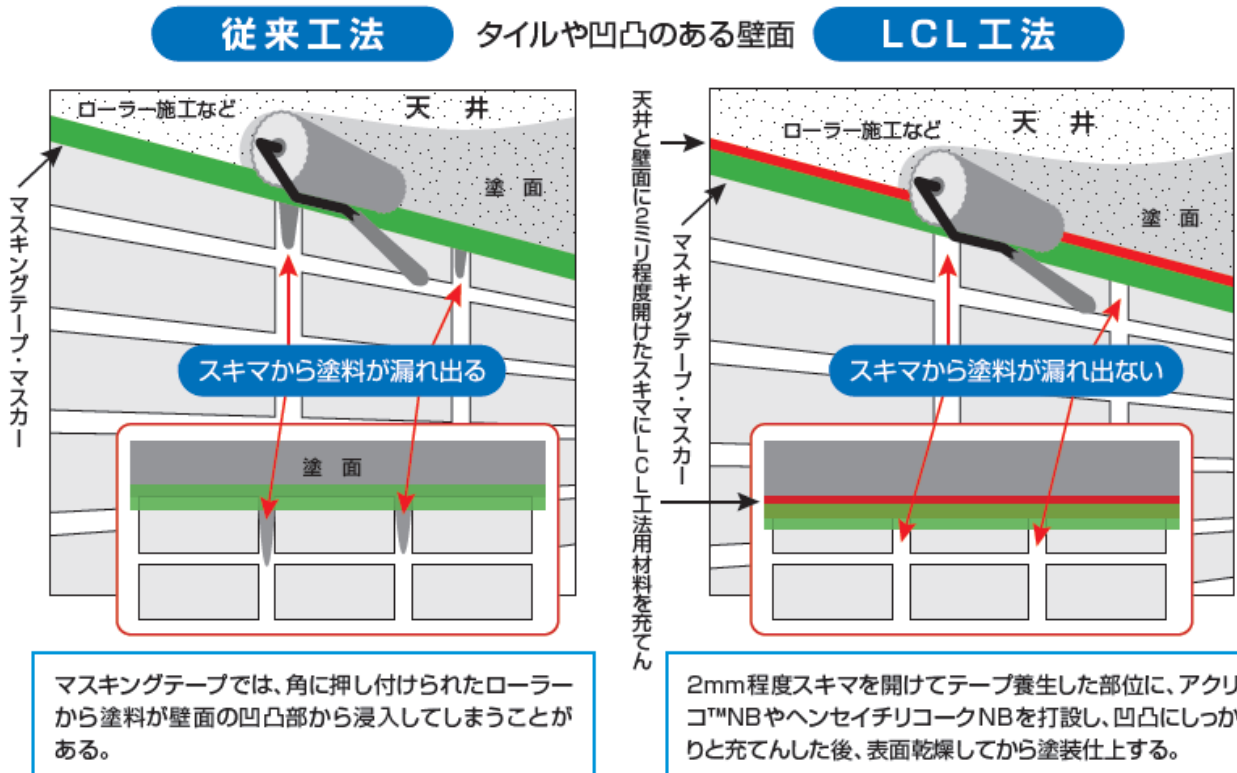
水性ペイントは、はじきに注意。
*油性やフタル酸の酸化重合型塗料を塗布すると乾燥しません。

・付着性:
仕上げ塗材の付着の程度
○:良好、△:可 ×:不可

・汚染性:
施工された仕上げ塗材の軟化、変色等の汚れの程度
○:良好、△若干汚染するが、実用上問題ない、×:汚染する

■ 施工手順(リキッドクリアライン工法)

- ①事前検討及び施工準備
- ②施工前検査
- ③下地の清掃、乾燥
- ④マスキングテープ、マスカー貼り
養生必要部位を、マスカー等で養生する
- ⑤アクリコ NB 塗布
マスカーの下にアクリコ NB を刷毛などでスキマを埋めるように塗布する
(仕上げ塗料が潜り込まないようにするため)
- ⑥表面乾燥確認
塗布後、アクリコ NB 表面が乾燥したことを指触で確認する
乾燥が確認できれば、上塗り仕上げ塗装が可能
- ⑦仕上げ塗装
アクリコ NB の表面乾燥後、ローラー施工などで仕上げ塗装を行う
仕上げ塗装は使用する塗料の施工要領に従って行うこと
- ⑧養生、周辺の清掃
マスカー等を除去して、周辺の清掃を実施
- ⑨検査、確認





■留意事項

- 降雨、降雪時の施工は避けて下さい。
- 施工は、5℃～40℃以内で行って下さい。
- 下地が濡れている場合は施工を避けて、十分に乾燥していることを確認の上施工して下さい。
- 被着面の油、ゴミなどの清掃には、溶剤を浸した布等できれいに清掃して下さい。
- 冷暗所に保管して下さい。
- 塗布量が少ないと十分な性能が発揮されません。使用方法を守ってご使用下さい。

■注意事項

- ・できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて手袋等の保護具を着用して下さい。
- ・廃棄処理は、産業廃棄物処理業者に委託して下さい。
- ・目に入った場合は、速やかに多量の水で洗い、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませて吐き出させて、速やかに医師の診察を受けて下さい。
- ・子供の手の届かない冷暗所に保管して下さい。
- ・本品は建築用に開発された製品ですので、本用途以外には絶対に使用しないで下さい。
- * 詳細の説明は、SDS(製品安全データシート)をご参照下さい。

■荷姿

- アクリコ[®]NB・・・3kg ポリ缶

★お客様へ 本カタログに記載している情報及びデータは、当社の実験により細心の注意を払っていますが、ご使用に際しては貴社使用条件に適合するか必ずご確認願います。また、記載の荷姿、仕様に関しては断りなく変更する場合がございます。



シャープ化学工業株式会社
SHARP CHEMICAL IND. CO.,LTD.

<http://www.sharpchem.co.jp>
info@sharpchem.co.jp

■大阪本社

〒592-8352 大阪府堺市西区築港浜寺西町 12-1
TEL 072-268-0321 FAX072-268-0326

■堺工場

〒592-8352 大阪府堺市西区築港浜寺西町 13-12
TEL 072-268-0322 FAX072-269-2810

■グローバルセンター

〒592-0001 大阪府高石市高砂 3-44
TEL 072-268-0323

■東京営業所

〒135-0016 東京都江東区東陽 5-26-9
TEL 03-3649-8103 FAX03-3646-6011

■札幌出張所

〒003-0824 札幌市白石区菊水元町四条 1 丁目 2-1
TEL 011-598-6814 FAX011-598-6824

■森夏化工科技(上海)有限公司

〒201402 上海市奉贤区大叶公路 2058 弄 16-1 号
TEL +81-21-57406320 FAX +81-21-57402721